

**令和元年度県政世論調査結果
(高齢者の保健福祉に関する部分のみ抜粋)**

調査の概要

1. 調査目的

県政の諸問題について、県民の意見や要望等を把握し、今後の施策立案に際しての基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査項目

- (1) 人権問題について
- (2) 環境施策について
- (3) 食習慣・生活習慣について
- (4) 高齢者の保健福祉について
- (5) 県公式ホームページについて
- (6) 県政の重要度と満足度について

3. 調査設計

- (1) 調査地域 香川県全域
- (2) 調査対象 満18歳以上の県民
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
- (5) 調査方法 郵送法
- (6) 調査時期 令和元年5月27日～6月17日

4. 回収状況

- (1) 標本数 3,000
- (2) 有効回収数 1,530 (51.0%)

5. サンプル設計

- (1) 母集団 香川県内の市町に居住する満18歳以上の県民
 - (2) 標本数 3,000
 - (3) 地点数 150地点 (市部：126地点、町部：24地点)
 - (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法
-
-

【 層 化 】

県内の市町（8市9町）を次のように5圏域に分類した。

圏域名	構成市町
1 高松圏域	高松市・三木町・直島町・綾川町
2 東讃圏域	さぬき市・東かがわ市
3 小豆圏域	土庄町・小豆島町
4 中讃圏域	丸亀市・坂出市・善通寺市・宇多津町・琴平町・多度津町・まんのう町
5 西讃圏域	観音寺市・三豊市

さらに、各圏域内を市町の規模によって、

①高松市 ②高松市以外の市 ③町 に分類して、それぞれを層とした。

【 標本数の配分 】

各層における母集団数（平成31年3月1日現在の選挙人名簿登録者数）の大きさにより、3,000の標本数を比例配分した。

【 抽 出 】

- ①第1次抽出単位となる調査地点として、平成31年3月1日現在の投票区を使用した。
- ②調査地点数については、1調査地点あたりの標本数が20前後になるように、各層に割り当てられた標本数から算出して決定した。
- ③調査地点の抽出は、調査地点数が2地点以上割り当てられた層については、

$$\left(\frac{\text{層における選挙人名簿登録者数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right)$$

を算出し、等間隔抽出法により該当番目が含まれる投票区を抽出した。

- ④抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、総務省設定の市町村コードに従った。
- ⑤調査地点における対象者の抽出は、調査地点（投票区）内から選挙人名簿によって等間隔抽出法で抽出した。
- ⑥以上の結果、圏域別・市町規模別における標本数・調査地点数は次のとおりである。

【 圏域別・市町規模別 標本数および調査地点数 】 上段:母集団数 下段:標本数、()内は調査地点数

圏域 \ 市町別	高松市	高松市以外の市	町	計
1 高松圏域	354,420 1,289 (64)		46,933 171 (9)	401,353 1,460 (73)
2 東讃圏域		69,351 252 (13)		69,351 252 (13)
3 小豆圏域			25,261 92 (4)	25,261 92 (4)
4 中讃圏域		164,607 599 (30)	57,464 209 (11)	222,071 808 (41)
5 西讃圏域		106,667 388 (19)		106,667 388 (19)

6. 集計・分析方法

集計・分析にあたり、回答者の年齢階層の偏りを補正し、年齢別の集計ウェイトを乗じて標本数を規正（ウェイトバック集計）した。ウェイトバック集計した値は、この規正した標本数を基に回答者の割合（百分比%）等を算出している。なお、規正した標本数は、乗算結果の小数点以下第1位を四捨五入しているため、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

年齢区分	推定母集団		有効回答数		年齢ウェイト (A/B)
	実数(人)	構成比(%) A	実数(人)	構成比(%) B	
18～19 歳	19,015	2.4	14	0.9	2.553
20～29 歳	76,613	9.6	74	4.9	1.946
30～39 歳	99,955	12.5	162	10.8	1.160
40～49 歳	133,871	16.8	247	16.5	1.019
50～59 歳	111,524	14.0	249	16.6	0.842
60～69 歳	137,222	17.2	363	24.2	0.711
70 歳以上	219,311	27.5	390	26.0	1.057
合計	797,511	100.0	1,499	100.0	-

※1) 推定母集団は平成 30 年 10 月時点

※2) 構成比は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、合計と内訳の計が一致しない場合がある。

※3) 年齢ウェイトは小数点以下を含んだ各構成比から算出しており、小数点以下第 2 位を四捨五入した各構成比から算出したカッコ内の数値とは一致しない。

7. 報告書の見方

- (1) 回答の比率は、その設問の回答者数を基数として算出し、少数第 2 位を四捨五入した。
このために、百分比の合計が 100.0%にならないことがある。
- (2) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢の有効回答数に対し、それぞれの割合を示している。このために、その比率の合計が 100.0%を超える場合がある。
- (3) 図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合がある。また、設問で回答がなかった選択肢について、図中の比率表記（0.0%）を省略している。
- (4) 本文、図表、集計表に用いた符号等の意味は次のとおりである。

N：質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数

4. 高齢者の保健福祉について

(1) 介護保険のあり方について

問28 介護サービスを利用する人が増えたり、1人あたりのサービス利用額が増えたりすると、各市町において、3年ごとに定める介護保険料の額は高くなる仕組みになっています。このことを踏まえたうえで、介護保険のあり方について、あなたの考え方に最も近いものを、次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

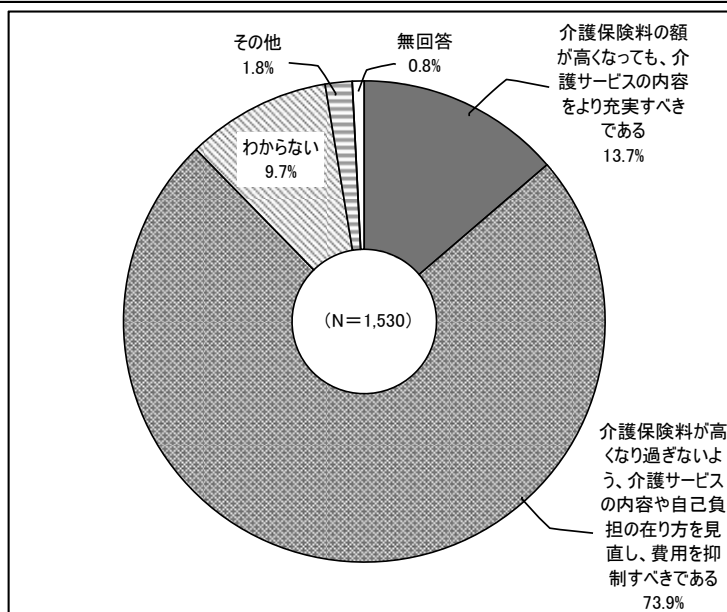
【回答者数=1,530】

- | | |
|--------------------------------------------------------|------------------------------|
| 1 介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである | 13.7% (13.9%) |
| 2 介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである | 73.9% (73.3%) |
| 3 わからない | 9.7% (10.1%) |
| 4 その他
(無回答) | 1.8% (1.9%)
0.8% (0.8%) |

介護保険のあり方について、「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」73.9%が最も高く、次いで「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」13.7%、「わからない」9.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」73.3%が最も高く、次いで「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」13.9%、「わからない」10.1%などとなっている。

図表 4-(1)-1 介護保険のあり方について



介護保険のあり方について、

性別にみると、男女とも「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」が最も高く、『男性』72.9%、『女性』75.0%で、これに「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」が『男性』14.6%、『女性』12.7%で続いている。

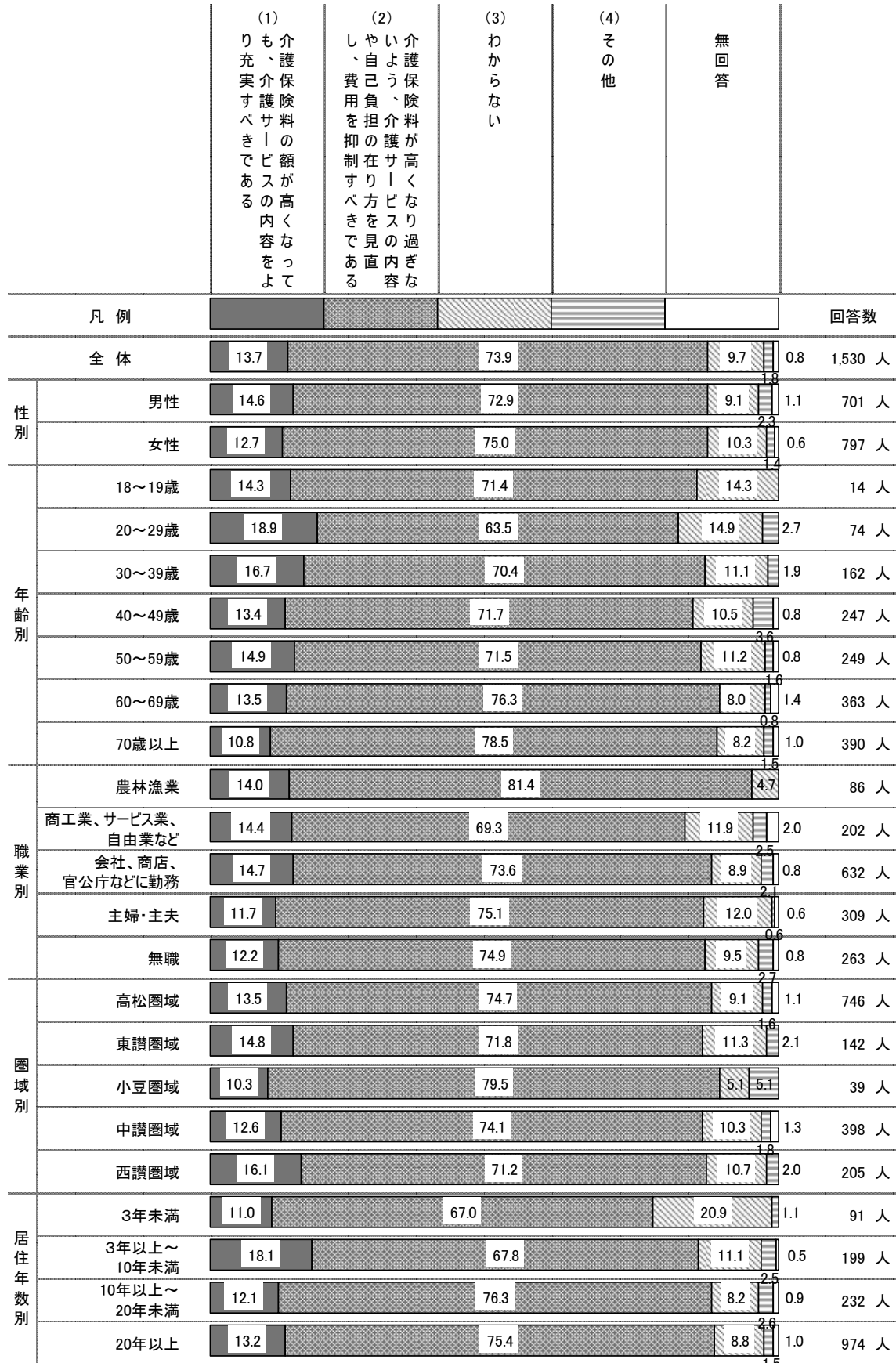
年齢別にみると、いずれも「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」が6～7割台と最も高く、これに『18～19歳』では「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」、「わからない」が、そのほかの年齢では「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」が続いている。

職業別にみると、いずれも「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」が6～8割台と最も高く、これに『主婦・主夫』では「わからない」が、そのほかの職業では「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」が続いている。

圏域別にみると、いずれも「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」が7割台と最も高く、これに「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」が続いている。

居住年数別にみると、いずれも「介護保険料が高くなり過ぎないように、介護サービスの内容や自己負担の在り方を見直し、費用を抑制すべきである」が6～7割台と最も高く、これに『3年未満』では「わからない」が、そのほかの居住年数では「介護保険料の額が高くなっても、介護サービスの内容をより充実すべきである」が続いている。

図表 4-(1)-2 【介護保険のあり方について】



グラフ単位：(%)

(2) 将来の住まいと介護サービスの利用について

問29 将来の住まいと介護サービスの利用について、どのように考えていますか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

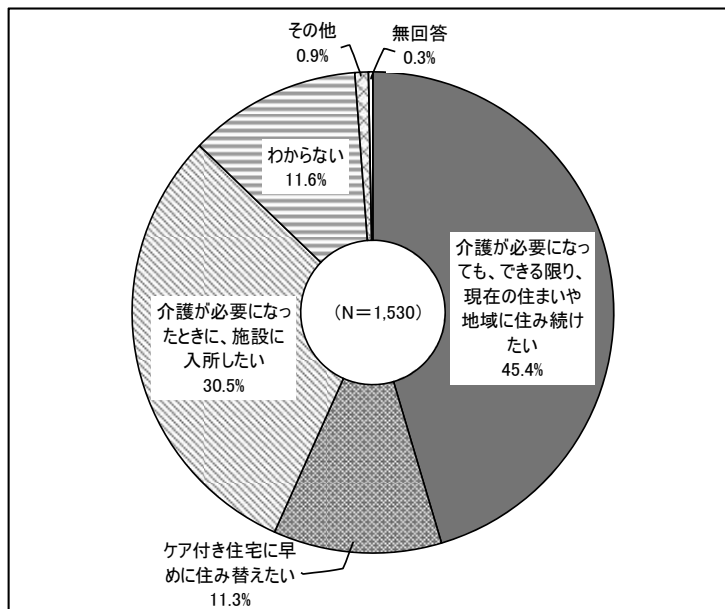
【回答者数=1,530】

1 介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい	45.4% (45.3%)
2 ケア付き住宅（高齢者向けの各種サービスの利用が可能な住宅）に早めに住み替えたい	11.3% (11.6%)
3 介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい	30.5% (30.2%)
4 わからない	11.6% (11.8%)
5 その他	0.9% (0.9%)
（無回答）	0.3% (0.3%)

将来の住まいと介護サービスの利用について、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」45.4%が最も高く、次いで「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」30.5%、「わからない」11.6%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」45.3%が最も高く、次いで「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなど）に入所したい」30.2%、「わからない」11.8%などとなっている。

図表 4-(2)-1 将来の住まいと介護サービスの利用について



将来の住まいと介護サービスの利用について、

性別にみると、男女とも「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」が最も高く、『男性』48.6%、『女性』42.2%で、これに「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなどに）に入所したい」が『男性』30.0%、『女性』30.9%が続いている。

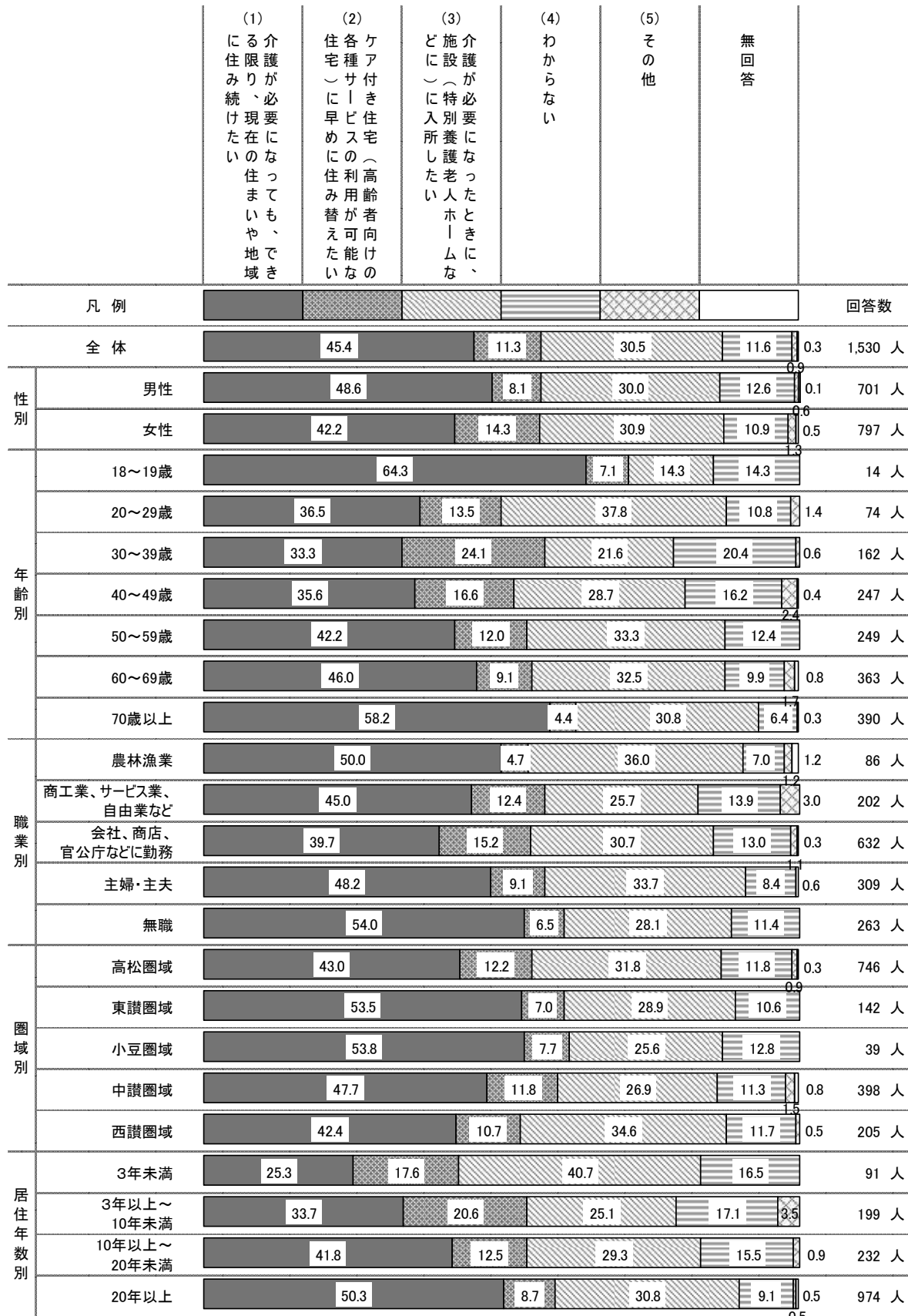
年齢別にみると、『20～29歳』では「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなどに）に入所したい」37.8%が最も高く、そのほかの年齢では「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」が3～6割台で最も高くなっている。

職業別にみると、いずれも「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」が3～5割台と最も高く、これに「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなどに）に入所したい」が続いている。

圏域別にみると、いずれも「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」が4～5割台と最も高く、これに「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなどに）に入所したい」が続いている。

居住年数別にみると、『3年未満』では「介護が必要になったときに、施設（特別養護老人ホームなどに）に入所したい」40.7%が最も高く、そのほかの居住年数では「介護が必要になっても、できる限り、現在の住まいや地域に住み続けたい」が3～5割台で最も高くなっている。

図表 4-(2)-2 【将来の住まいと介護サービスの利用について】



グラフ単位：(%)

(3)施設入所を希望する理由について

【問29で「3」と答えた方にお聞きします】

付問7 施設入所を希望される理由は何ですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

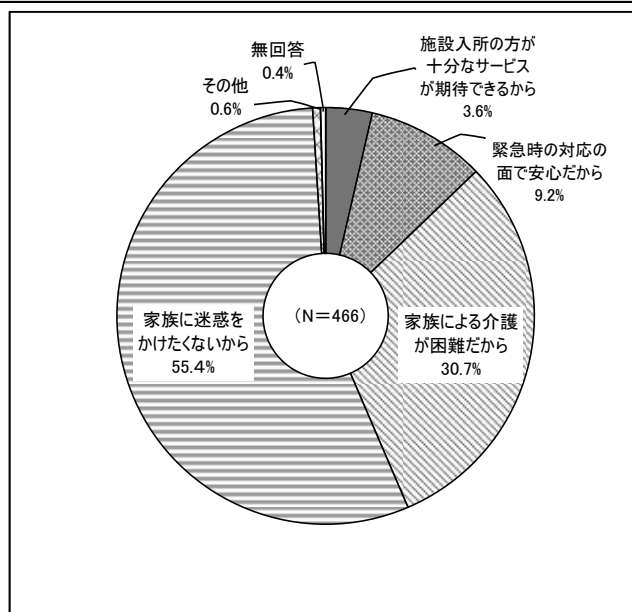
【回答者数=466】

1 施設入所の方が十分なサービスが期待できるから	3.6% (3.7%)
2 緊急時の対応の面で安心だから	9.2% (10.1%)
3 家族による介護が困難だから	30.7% (29.8%)
4 家族に迷惑をかけたくないから	55.4% (55.4%)
5 その他	0.6% (0.6%)
(無回答)	0.4% (0.4%)

施設入所を希望する理由について、「家族に迷惑をかけたくないから」55.4%が最も高く、次いで「家族による介護が困難だから」30.7%、「緊急時の対応の面で安心だから」9.2%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「家族に迷惑をかけたくないから」55.4%が最も高く、次いで「家族による介護が困難だから」29.8%、「緊急時の対応の面で安心だから」10.1%などとなっている。

図表 4-(3)-1 施設入所を希望する理由について



施設入所を希望する理由について、

性別にみると、男女とも「家族に迷惑をかけたくないから」が最も高く、『男性』47.6%、『女性』62.2%で、これに「家族による介護が困難だから」が『男性』35.2%、『女性』26.4%で続いている。

年齢別にみると、『18～19 歳』では「家族による介護が困難だから」、「家族に迷惑をかけたくないから」が同率の 50.0%で、『70 歳以上』では「家族による介護が困難だから」51.7%が最も高く、そのほかの年齢では「家族に迷惑をかけたくないから」が 5～7 割台で最も高くなっている。

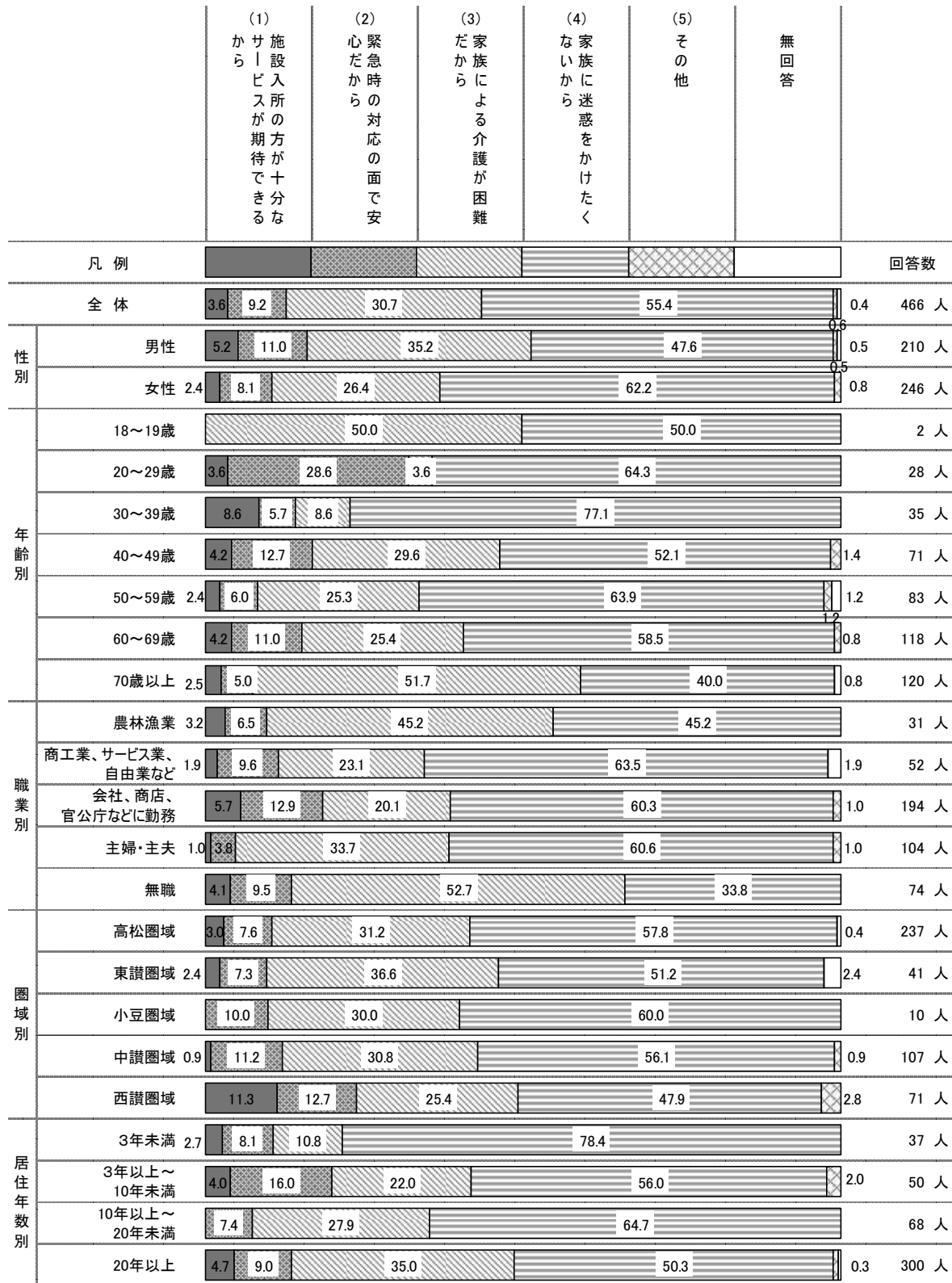
職業別にみると、『農林漁業』では「家族による介護が困難だから」、「家族に迷惑をかけたくないから」が同率の 45.2%で高く、『無職』では「家族による介護が困難だから」52.7%が最も高く、そのほかの職業では「家族に迷惑をかけたくないから」が 6 割台で最も高くなっている。

圏域別にみると、いずれも「家族に迷惑をかけたくないから」が 4～6 割台で最も高く、これに「家族による介護が困難だから」が続いている。

圏域別にみると、いずれも「家族に迷惑をかけたくないから」が 4～6 割台で最も高く、これに「家族による介護が困難だから」が続いている。

居住年数別にみると、いずれも「家族に迷惑をかけたくないから」が 5～7 割台で最も高く、これに「家族による介護が困難だから」が続いている。

図表 4-(3)-2 【施設入所を希望する理由について】



グラフ単位：(%)^{0.7}

(4)一人暮らしの高齢者などへの手助けについて

問30 地域で何らかの日常生活上の支援を必要としている一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。次の中から1つだけ選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

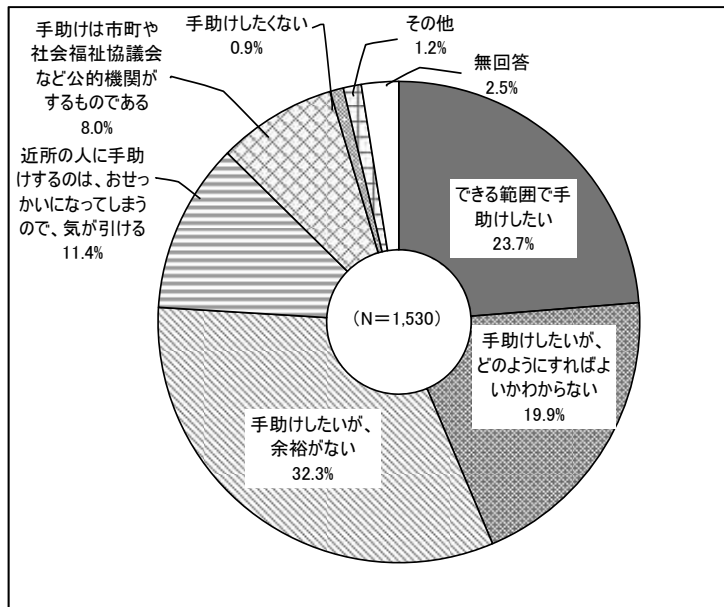
【回答者数=1,530】

1	できる範囲で手助けしたい	23.7% (23.4%)
2	手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない	19.9% (20.3%)
3	手助けしたいが、余裕がない	32.3% (32.7%)
4	近所の人に手助けするのは、おせっかいになってしまうので、気が引ける	11.4% (10.7%)
5	手助けは市町や社会福祉協議会など公的機関がするものである	8.0% (8.3%)
6	手助けしたくない	0.9% (0.9%)
7	その他	1.2% (1.1%)
	(無回答)	2.5% (2.7%)

一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、「手助けしたいが、余裕がない」32.3%が最も高く、次いで「できる範囲で手助けしたい」23.7%、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」19.9%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「手助けしたいが、余裕がない」32.7%が最も高く、次いで「できる範囲で手助けしたい」23.4%、「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」20.3%などとなっている。

図表 4-(4)-1 一人暮らしの高齢者などへの手助けについて



一人暮らしの高齢者などへの手助けについて、

性別にみると、男女とも「手助けしたいが、余裕がない」が最も高く、『男性』33.8%、『女性』31.4%で、これに『男性』では「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」21.5%、『女性』では「できる範囲で手助けしたい」26.1%で続いている。

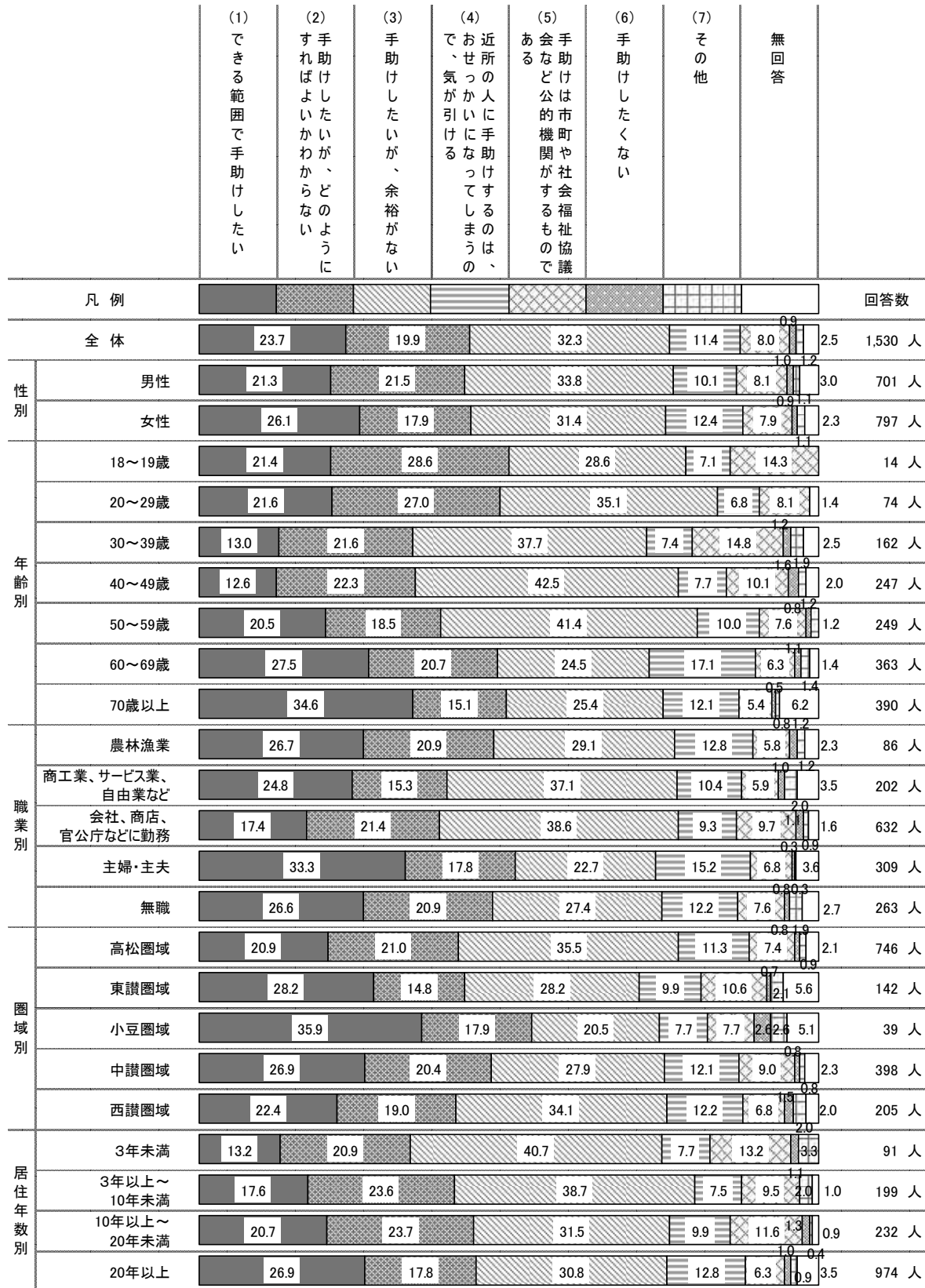
年齢別にみると、『18～19 歳』では「手助けしたいが、どのようにすればよいかわからない」、「手助けしたいが、余裕がない」が同率で最も高く、『60 歳以上』では「できる範囲で手助けしたい」が2～3割台で最も高く、そのほかの年齢では「手助けしたいが、余裕がない」が3～4割台で最も高くなっている。

職業別にみると、『主婦・主夫』では「できる範囲で手助けしたい」が33.3%で最も高く、そのほかの職業では「手助けしたいが、余裕がない」が2～3割台で最も高くなっている。

圏域別にみると、『東讚圏域』では「できる範囲で手助けしたい」、「手助けしたいが、余裕がない」が同率で最も高く、『小豆圏域』では「できる範囲で手助けしたい」が35.9%で最も高く、そのほかの圏域では「手助けしたいが、余裕がない」が2～3割台で最も高くなっている。

居住年数別にみると、いずれも「手助けしたいが、余裕がない」が3～4割台で最も高くなっている。

図表 4-(4)-2 【一人暮らしの高齢者などへの手助けについて】



グラフ単位: (%)

(5) 認知症施策で関心のあることについて

問31 認知症施策で関心のあることはどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1	認知症の予防に向けた取り組み	59.4% (59.6%)
2	家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み	59.4% (58.8%)
3	認知症を治せる薬や治療法の開発	51.2% (51.6%)
4	認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	48.1% (47.4%)
5	家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取り組み	47.6% (47.6%)
6	できるだけ早い段階からの医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	46.1% (46.2%)
7	認知症に関する正しい知識と理解の啓発・情報提供	43.9% (43.6%)
8	認知症の人が利用できる介護施設の充実	39.9% (39.0%)
9	認知症の人を地域で見守る体制の充実	28.7% (28.1%)
10	悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み	27.3% (27.3%)
11	日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	16.3% (16.2%)
12	その他	0.1% (0.1%)
	(無回答)	2.2% (2.3%)

認知症施策で関心のあることについて、「認知症の予防に向けた取り組み」59.4%と「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」59.4%が最も高く、次いで「認知症を治せる薬や治療法の開発」51.2%、「認知症のことを相談できる窓口・体制の充実」48.1%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「認知症の予防に向けた取り組み」59.6%が最も高く、次いで「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」58.8%、「認知症を治せる薬や治療法の開発」51.6%などとなっている。

図表 4-(5)-1 認知症施策で関心のあることについて

		回答数
全体	100.0	1,530 人
(1) 認知症の予防に向けた取り組み	59.4	909 人
(2) 家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み	59.4	909 人
(3) 認知症を治せる薬や治療法の開発	51.2	784 人
(4) 認知症のことを相談できる窓口・体制の充実	48.1	736 人
(5) 家族の仕事と介護の両立支援などを含めた経済的負担を減らす取り組み	47.6	729 人
(6) できるだけ早い段階からの医療・介護などのサポートを利用できる仕組みづくり	46.1	705 人
(7) 認知症に関する正しい知識と理解の啓発・情報提供	43.9	671 人
(8) 認知症の人が利用できる介護施設の充実	39.9	610 人
(9) 認知症の人を地域で見守る体制の充実	28.7	439 人
(10) 悪質商法や詐欺的な勧誘による被害を防止するための取り組み	27.3	418 人
(11) 日常生活の中で必要となる財産管理などへの支援の充実	16.3	250 人
(12) その他	0.1	2 人
無回答	2.2	34 人

グラフ単位：(%)

認知症施策で関心のあることについて、

性別にみると、『男性』では「認知症の予防に向けた取り組み」60.3%が最も高く、『女性』では「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」62.7%が最も高く、これに『男性』では「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」56.3%、『女性』では「認知症の予防に向けた取り組み」58.7%で続いている。

年齢別にみると、『18～19歳』、『20～29歳』、『70歳以上』では「認知症の予防に向けた取り組み」が5～6割台と最も高く、そのほかの年齢では「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が6割台と最も高くなっている。

職業別にみると、『農林漁業』、『無職』では「認知症の予防に向けた取り組み」が5～6割台と最も高く、そのほかの職業では「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が6割台と最も高くなっている。

圏域別にみると、『中讃圏域』では「認知症の予防に向けた取り組み」が64.6%と最も高く、そのほかの圏域では「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が5～6割台と最も高くなっている。

居住年数別にみると、『20年以上』では「認知症の予防に向けた取り組み」が59.2%と最も高く、そのほかの居住年数では「家族の身体的・精神的負担を減らす取り組み」が6割台と最も高くなっている。

図表 4-(5)-2 【認知症施策で関心のあることについて】

【表の見方】 単位=比率(%)	全体 (人)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	無 回 答	
		認知症の 予防に 向け た取 組 み	家 族 の 身 体 的 ・ 精 神 的 負 担 を 減 ら す 取 組 み	認 知 症 を 治 せ る 薬 や 治 療 法 の 開 発	認 知 症 の 充 実 の こ と を 相 談 で き る 窓 口 ・	家 族 の 仕 事 と 経 済 的 負 担 を 減 ら す 支 援 取 組 み	介 護 な ど の サ ポ ー ト を 利 用 で き る ・	啓 蒙 ・ 情 報 提 供 の 認 知 症 に 関 する 正 し い 知 識 と 理 解	認 知 症 の 人 が 利 用 で き る 介 護 施 設	充 実 の 認 知 症 の 人 を 地 域 で 見 守 る 体 制 の	悪 質 商 法 や 詐 欺 的 な 取 組 み を 防 止 す る た め の 取 組 み	日 常 生 活 中 で 必 要 と な る 支 援 の 充 実	理 な か ら の 支 援 の 充 実		そ の 他
全体	1,530	59.4	59.4	51.2	48.1	47.6	46.1	43.9	39.9	28.7	27.3	16.3	0.1	2.2	
性別	男性	701	60.3	56.3	51.4	43.5	43.9	45.1	43.8	38.1	27.0	24.5	17.3	0.1	2.7
	女性	797	58.7	62.7	51.1	52.4	51.1	46.7	44.3	41.9	30.7	29.7	15.6	0.1	1.6
年齢別	18～19歳	14	64.3	42.9	42.9	35.7	57.1	57.1	28.6	28.6	21.4	14.3	21.4	-	-
	20～29歳	74	66.2	64.9	60.8	41.9	50.0	44.6	47.3	29.7	23.0	32.4	14.9	-	1.4
	30～39歳	162	61.1	64.8	53.7	45.7	50.6	48.8	43.8	36.4	27.8	32.1	15.4	-	1.9
	40～49歳	247	58.7	64.0	47.4	48.6	57.5	42.1	41.7	36.8	26.3	25.5	16.6	0.4	1.2
	50～59歳	249	60.2	65.1	49.4	46.6	52.2	48.2	45.8	37.8	25.3	31.3	19.7	0.4	-
	60～69歳	363	61.2	65.3	52.3	51.8	48.8	44.9	46.0	44.4	33.3	26.7	16.3	-	1.1
	70歳以上	390	55.6	45.9	51.0	48.5	35.6	46.4	42.6	43.6	30.8	23.8	14.6	-	5.6
職業別	農林漁業	86	62.8	50.0	52.3	44.2	44.2	47.7	46.5	43.0	32.6	18.6	17.4	-	1.2
	商工業、サービス業、 自由業など	202	59.4	62.9	45.5	48.5	52.0	41.1	39.6	42.1	28.7	33.7	17.3	0.5	2.5
	会社、商店、官公庁 などに勤務	632	60.0	63.3	53.6	44.6	53.5	46.5	45.1	35.3	26.9	25.9	17.1	0.2	1.3
	主婦・主夫	309	58.9	61.8	50.8	57.6	44.3	46.9	44.3	43.4	32.7	32.0	13.9	-	2.3
無職	263	58.2	49.4	49.8	47.5	35.4	46.0	44.1	45.6	28.9	22.8	16.0	-	4.2	
圏域別	高松圏域	746	59.4	59.9	52.5	49.5	48.4	47.9	44.1	39.1	30.0	29.6	17.3	-	1.9
	東讃圏域	142	52.1	56.3	55.6	48.6	48.6	50.7	44.4	34.5	26.1	23.9	14.1	-	2.8
	小豆圏域	39	46.2	56.4	56.4	35.9	43.6	43.6	35.9	46.2	20.5	23.1	10.3	-	5.1
	中讃圏域	398	64.6	58.8	48.0	48.0	47.2	44.0	44.7	43.0	28.9	27.1	17.8	0.3	2.3
	西讃圏域	205	57.1	61.5	48.8	45.4	45.9	41.0	42.4	39.0	26.8	22.4	12.7	0.5	2.4
居住年数別	3年未満	91	62.6	63.7	54.9	44.0	51.6	48.4	44.0	38.5	33.0	29.7	13.2	-	-
	3年以上～10年未満	199	62.3	67.8	51.3	43.2	56.3	43.7	44.7	37.7	28.6	30.2	20.1	-	0.5
	10年以上～20年未満	232	56.9	61.2	48.3	44.0	53.4	46.6	45.3	33.2	28.9	25.4	16.4	0.4	1.3
	20年以上	974	59.2	57.4	51.6	50.8	44.3	46.0	43.7	42.5	28.7	27.0	15.9	0.1	2.8

(6)高齡化が進行していく社会において、重要と思われる方策について

問32 今後も高齡化が進行していく社会において、あなたが重要と思われる方策はどれですか。次の中からあてはまるものをすべて選んでください。

※ () 内の割合はウェイトバックした値

【回答者数=1,530】※回答数の多い順に並び替え

1 健康づくりや介護予防	59.3% (58.7%)
2 高齡者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)	48.5% (48.8%)
3 住宅や交通などの住環境の充実	44.7% (44.6%)
4 介護サービス施設などの量的充実	43.6% (43.3%)
5 介護サービスの質の向上	41.6% (42.2%)
6 地域医療の充実	40.8% (40.1%)
7 地域で支え合う体制の充実	38.6% (38.7%)
8 認知症高齡者施策の推進	32.5% (32.3%)
9 災害時の援護体制の整備	28.2% (28.7%)
10 交通安全の確保	27.4% (29.1%)
11 高齡者虐待の防止	22.6% (23.2%)
12 犯罪被害の防止	19.9% (20.5%)
13 その他	1.4% (1.8%)
(無回答)	2.0% (2.0%)

高齡化が進行していく社会において、重要と思われる方策について、「健康づくりや介護予防」59.3%が最も高く、次いで「高齡者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)」48.5%、「住宅や交通などの住環境の充実」44.7%などとなっている。

ウェイトバック集計した値をみると、「健康づくりや介護予防」58.7%が最も高く、次いで「高齡者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)」48.8%、「住宅や交通などの住環境の充実」44.6%などとなっている。

図表 4-(6)-1 高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について

	回答数
全体	100.0 1,530 人
(1) 健康づくりや介護予防	59.3 907 人
(2) 高齢者活躍の場の確保(活躍の場への誘導)	48.5 742 人
(3) 住宅や交通などの住環境の充実	44.7 684 人
(4) 介護サービス施設などの量的充実	43.6 667 人
(5) 介護サービスの質の向上	41.6 637 人
(6) 地域医療の充実	40.8 625 人
(7) 地域で支え合う体制の充実	38.6 591 人
(8) 認知症高齢者施策の推進	32.5 497 人
(9) 災害時の援護体制の整備	28.2 431 人
(10) 交通安全の確保	27.4 419 人
(11) 高齢者虐待の防止	22.6 346 人
(12) 犯罪被害の防止	19.9 305 人
(13) その他	1.4 22 人
無回答	2.0 30 人

グラフ単位:(%)

高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について、

性別にみると、男女とも「健康づくりや介護予防」が最も高く、『男性』58.1%、『女性』60.0%で、これに「高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）」が『男性』47.6%、『女性』49.1%で続いている。

年齢別にみると、『18～19歳』では「地域で支え合う体制の充実」、「介護サービスの質の向上」64.3%が最も高く、『20～29歳』では「高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）」、「介護サービスの質の向上」51.4%が最も高く、そのほかの年齢では「健康づくりや介護予防」が5～6割台と最も高くなっている。

職業別にみると、いずれも「健康づくりや介護予防」が5～6割台と最も高く、これに『農林漁業』、『無職』では「介護サービス施設などの量的充実」が、『主婦・主夫』では「住宅や交通などの住環境の充実」が、そのほかの職業では「高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）」が続いている。

圏域別にみると、いずれも「健康づくりや介護予防」が5～6割台で最も高く、これに『東讃圏域』では「介護サービス施設などの量的充実」が、『小豆圏域』では「地域医療の充実」が、そのほかの圏域では「高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）」が続いている。

居住年数別にみると、『10年以上～20年未満』では「高齢者活躍の場の確保（活躍の場への誘導）」が56.0%で最も高く、そのほかの居住年数では「健康づくりや介護予防」が5～6割台で最も高くなっている。

図表 4-(6)-2 【高齢化が進行していく社会において、重要と思われる方策について】

【表の見方】 単位=比率(%)	全体 (人)	(1) 健康づくりや介護予防	(2) 高齢者活躍の場の確保 (活躍の場への誘導)	(3) 住宅や交通などの住環境の充実	(4) 介護サービス施設などの量的充実	(5) 介護サービスの質の向上	(6) 地域医療の充実	(7) 地域で支え合う体制の充実	(8) 認知症高齢者施策の推進	(9) 災害時の援護体制の整備	(10) 交通安全の確保	(11) 高齢者虐待の防止	(12) 犯罪被害の防止	(13) その他	無回答	
	全体	1,530	59.3	48.5	44.7	43.6	41.6	40.8	38.6	32.5	28.2	27.4	22.6	19.9	1.4	2.0
性別	男性	701	58.1	47.6	43.2	44.4	38.7	40.1	37.7	30.4	25.7	27.1	21.3	19.8	1.3	2.3
	女性	797	60.0	49.1	46.2	43.2	44.7	41.4	39.6	34.3	30.7	28.2	24.0	20.3	1.6	1.8
年齢別	18～19歳	14	57.1	57.1	35.7	50.0	64.3	28.6	64.3	14.3	50.0	21.4	50.0	28.6	7.1	-
	20～29歳	74	48.6	51.4	50.0	41.9	51.4	36.5	35.1	35.1	32.4	50.0	21.6	29.7	5.4	1.4
	30～39歳	162	60.5	56.2	45.1	40.1	42.0	34.0	34.0	31.5	25.3	42.6	25.9	18.5	3.7	1.9
	40～49歳	247	55.5	54.3	46.6	39.7	39.7	36.4	34.0	25.1	29.6	25.1	22.7	19.8	1.2	1.2
	50～59歳	249	59.0	51.4	46.6	45.8	42.6	41.0	35.7	31.7	27.7	24.5	22.5	19.3	0.8	0.4
	60～69歳	363	61.2	46.8	46.3	46.6	43.5	44.9	41.3	33.6	27.8	20.9	20.4	19.6	0.8	1.9
	70歳以上	390	61.0	40.0	40.3	43.8	38.5	43.6	42.8	36.9	28.2	27.4	22.8	19.7	0.8	3.8
職業別	農林漁業	86	57.0	33.7	33.7	44.2	29.1	39.5	39.5	39.5	22.1	19.8	17.4	15.1	1.2	2.3
	商工業、サービス業、自由業など	202	59.9	49.0	47.0	38.1	46.5	39.1	37.6	31.2	25.2	22.8	25.2	22.3	1.0	2.5
	会社、商店、官公庁などに勤務	632	57.9	55.5	46.2	43.7	41.5	38.4	35.1	29.9	27.8	30.7	22.6	18.4	1.7	1.3
	主婦・主夫	309	63.1	44.7	46.0	41.7	41.1	42.1	45.0	36.6	32.7	25.6	23.0	23.3	1.9	2.6
	無職	263	56.7	40.3	41.8	50.6	44.5	46.8	41.1	32.7	28.5	29.7	22.4	20.5	0.8	2.7
圏域別	高松圏域	746	59.1	49.9	45.3	42.8	41.6	42.2	38.1	32.0	28.3	26.1	23.9	19.8	1.3	1.9
	東讃圏域	142	54.9	45.1	43.7	45.8	40.1	42.3	40.1	35.2	29.6	26.8	21.1	21.1	1.4	2.1
	小豆圏域	39	53.8	28.2	41.0	46.2	43.6	48.7	25.6	30.8	41.0	15.4	12.8	17.9	5.1	5.1
	中讃圏域	398	61.3	48.7	46.0	46.0	43.2	36.2	39.7	31.4	26.4	31.2	22.6	22.6	1.0	1.8
	西讃圏域	205	60.0	49.3	41.5	40.0	39.5	42.4	40.0	34.6	27.8	27.3	21.0	14.6	2.0	2.0
居住年数別	3年未満	91	64.8	52.7	44.0	39.6	44.0	27.5	39.6	38.5	28.6	39.6	23.1	27.5	5.5	-
	3年以上～10年未満	199	63.3	58.8	48.2	47.2	43.7	37.2	36.2	29.1	26.6	33.2	25.1	19.1	3.0	0.5
	10年以上～20年未満	232	53.9	56.0	48.7	40.1	40.5	33.2	38.4	26.3	25.0	22.4	24.1	19.0	0.4	1.3
	20年以上	974	58.9	44.0	43.2	44.4	41.7	44.7	39.3	34.1	29.5	26.8	21.9	19.9	1.0	2.6